

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のため必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

△注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

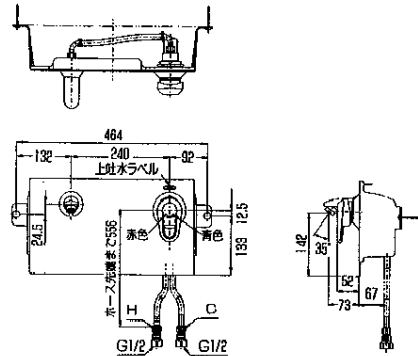
△注意

(1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

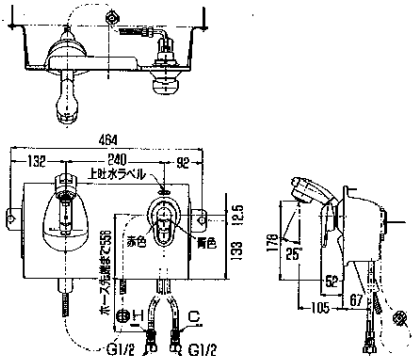
(2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完 成 図

TL481UF型



TL481UCF型



使 用 条 件

1. 使用水圧

(1)瞬間型給湯機と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧 (下表参照)
最高圧力………0.74MPa (7.5kgf/cm²)

器具入口部における最低必要水圧 (MPa (kgf/cm²))

給湯機タイプと号数		最低必要水圧
能力手動切替タイプ	12号	A+0.55 (5.5)
比例制御タイプ	TOTO カスタム 制御方式	0.12 (1.2)
	20号	
	16号	
	TOTO トリコン 制御方式 (トリコン・コンタクト・アクティ)	0.1 (1.0)
	20号	
	24号	
	アクティ	
スーパーアクティ	0.09 (0.9)	
32号		
TOTO ハイトリコン 制御方式	21号	0.1 (1.0)
24号		
TOTO コマンド	16号	0.09 (0.9)
24号		
TOTO ハイコマンド	21号	0.06 (0.6)
24号		

注) 表中のAは給湯機の最低作動水圧を示します。
(比例制御タイプにはこの数値が含まれています。)

(設定条件)

- レバーハンドルは中央の位置で全開
- 吐水はソフト吐水
- 吐水温度: 38℃
- 給湯配管長さ: 5m
- 給湯機が着火する下限の圧力とする。
- 水温の高い (25℃) 夏期に着火させることを想定。
- 能力手動切替タイプの出湯温度は最高温度に設定。
- 比例制御タイプの出湯温度: 60℃

※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えることで着火しやすくなります。

②野湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa (0.5kgf/cm²)
最高圧力………0.74MPa (7.5kgf/cm²)

③給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

給水ホースには㊶ラベルを、給湯ホースには㊵ラベルを貼り付けています。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

4. 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

器 具 の 取 付 け

1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などは完全に洗い流してください。

2. 製品の取付け

水栓の取付けている水栓パネルを化粧鏡側に同梱の木ねじ (タッピンねじ4.5×50) にて2ヶ所取付けてください。

この後、ねじの頭に化粧キャップをかぶせてください。

3. 給水・給湯ホースの取付け及び施工上の注意点

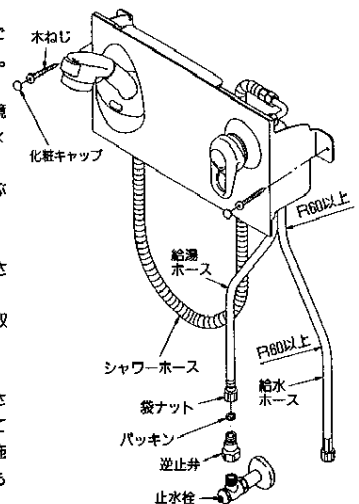
(1)同梱の逆止弁を止水栓に取付けてください。

次にホース下端の袋ナットを逆止弁に取付けてください。

この時パッキンを忘れないでください。

(2)ホースは最小曲げ半径 (60mm) より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径 (60mm) よりも小さく曲げないように、ご注意ください。

又金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。



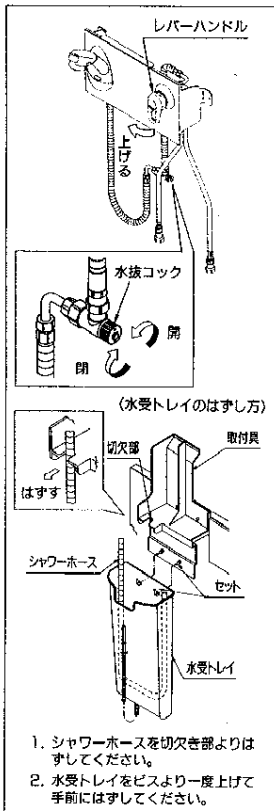
寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいでください。またお客様にも水抜き方法をご指導ください。

水抜き方法

- マルチス感ウトタイプの場合
 - レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
 - スパウト部を回転させて上に向けてください。中の水が抜けやすくなります。
- シャワータイプの場合（右図参照）
 - レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
 - 水受トレイをはずしてください。
 - ハンドシャワーを水抜きコック部が最も下端になる位置まで引き出し、ホース途中の水抜きコックを開いて、ホース、ハンドシャワー内の水を抜いてください。
 - 水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

- ※水抜きコックを開ける時はバケツ等で受けてください。
- ※水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。
- ※水抜き後は必ず水受トレイを元に戻してください。この時ホースは切欠部へ入れてください。



使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。レバーハンドルを速く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じることがありますが故障ではありません。万一、レバーハンドルがロックして、水が止まらなくなった場合は、一度全開にして、再度ゆっくり閉めてください。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、又快適にお使いいただけるようお客様にお手入れ方法をご指導ください。

- ふだんは柔らかい布でふいてください。
- スムーズな昇降動作を行うために、定期的に支持管を柔らかい布でふいてください。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。又支柱部に油、オイル等は絶対につけないでください。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

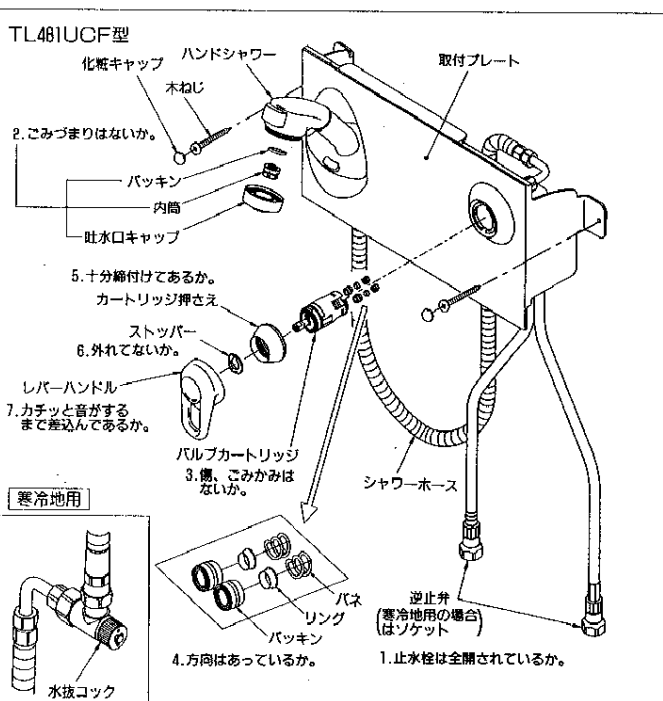
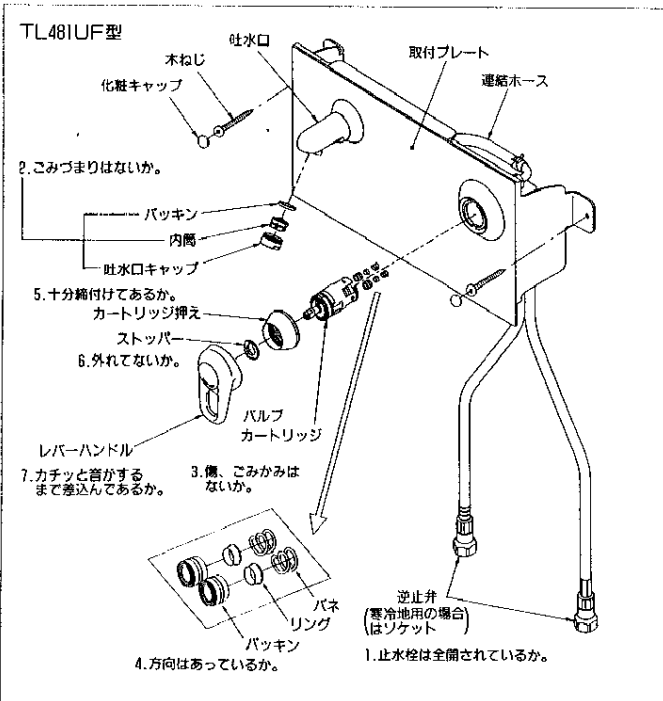
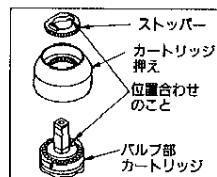
ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5、6
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	7

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組込むときは、カートリッジ割凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせる様に調整してください。



再生紙を使用しています。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げおいてください。